

# 防災情報マップ

## 土砂災害版

**芦屋市 保存用 改訂版**

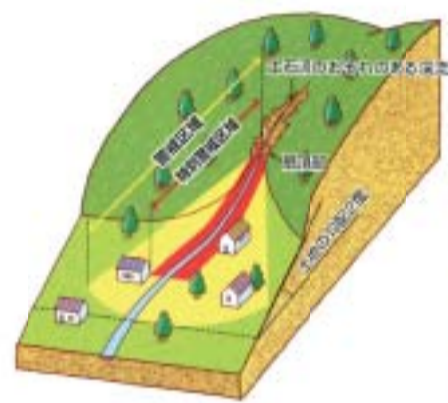
発行/芦屋市役所 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 ☎0797-31-2121  
編集協力/国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所・兵庫県阪南東区民局西宮土木事務所・兵庫県六甲治山事務所  
問い合わせ/芦屋市都市環境部防災安全課 ☎0797-38-2093 E-mail: bosai@city.ashiya.hyogo.jp

### 自然災害から街を守る

## 土砂災害防止月間 6/1～6/30

### 土石流

●山腹が崩壊して生じた土石等または渓流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



### 急傾斜地の崩壊

●傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象



■芦屋市には「地すべり」の危険箇所はありません。そのため説明は割愛します。

### 土砂災害警戒情報とは？

大雨により土砂災害の危険性が高まった市町を特定し、県と神戸海洋気象台が共同で発表する情報です。

梅雨のころから台風が襲来する秋までは、大雨による土砂災害が起こりやすい時期で、特に6月は「土砂災害防止月間」として、皆さんに土砂災害と防災に関する注意を呼びかけています。近年は、地球温暖化に伴う異常気象と思われる現象で、豪雨による大規模な土砂災害も多く発生しています。昨年9月の台風12号により紀伊山地で発生した深層崩壊やこれによる天然ダムの被害は、これまでに例のない大規模な土砂災害でした。このような異常事態の発生に備えるためにも、周囲の危険性をあらかじめ知っておき、正しい知識を持って冷静に行動できるよう、日頃から備えておきましょう。

### 土砂災害特別警戒区域

(通称: レッドゾーン)  
「急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがある」と認められる区域をいい、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

### 土砂災害警戒区域

(通称: イエローゾーン)  
「急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある」と認められる区域をいい、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

問い合わせ先  
兵庫県砂防課 直通 ☎078-362-3565  
神戸海洋気象台観測予報課 直通 ☎078-222-8915

### 増水警報システムの案内

芦屋川に、河川利用者のための増水警報システムが作動しています。  
①大雨・洪水注意報および警報の発表と連動して回転灯（黄色に点灯）を作動させ河川利用者に注意喚起をします。  
②回転灯は、大雨・洪水注意報および警報が発表されてから、解除されるまで点灯します。  
③音声による警告は行いません。



芦屋川の開森橋から下流に12カ所設置しています。

### 気象庁からの警報と注意報の発表は？

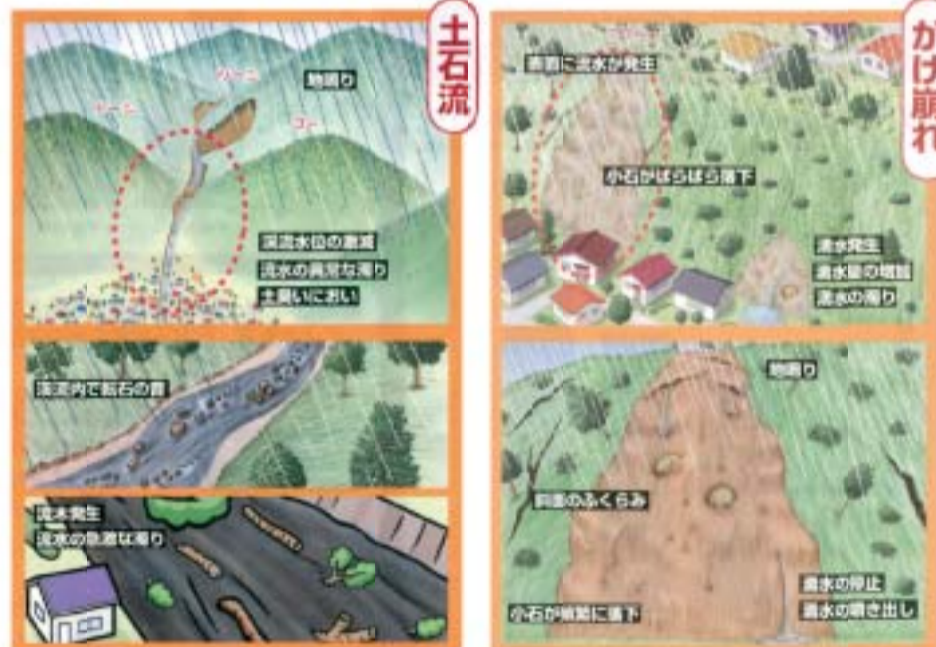
大雨警報では警戒が必要な災害が土砂災害なのか、浸水被害なのかを示して発表します。常に最新の情報を利用して、早めの避難や応に役立てましょう。なお、テレビやラジオによる放送では、簡潔かつ効果的に伝えられるよう、これまでどおり市町村をまとめた地域の名称を用いてお知らせする場合があります。

### 雨の降り方に注意しましょう。



### 土砂災害には前兆現象があります

●こんな現象を見たら・・・聞いたら・・・早めの避難を!!



### 前兆現象について

最近の土砂災害において、災害の発生前に避難した事例（避難がうまく出来た事例）によると、土砂災害の前兆（前兆現象）を確認し、これにより早期に避難して助かった事例があります。土砂災害（土石流や急傾斜地の崩壊）における前兆現象には以下のようなものがあります。

- 土石流:** 川の水の異常な濁り、流木の発生や石が転がるゴロゴロする音、山鳴りや地鳴り、川の水位が急に少なくなる。
- 急傾斜地の崩壊:** 斜面の湧き水が増加する、小石がバラバラ落下する、湧き水が（が）崩れ、濁る、小石がボロボロ落下する、斜面に亀裂が発生する。

### 平常時の準備は

家のまわりを保全する  
●雨戸や屋根を補強し、鉢植え・物干し竿などは屋内へ移動するか、しっかり固定する。  
●ブロック塀や外壁のひび割れや亀裂は補強する。側溝や排水溝は掃除し、水の流れをスムーズに。



### 風水害にどう備えるか

停電に備える  
●懐中電灯や懐中ラジオ、予備の電池も準備して。



気象情報に注意する  
●テレビやラジオで発表される気象庁からの警報・注意報や、市・消防署・警察署からの情報に注意しましょう。  
●がけの亀裂や河川の水位等、前兆現象にも注意を。



### 被害が心配されるときは

むやみに外出しない  
台風が接近しているときや、豪雨の危険性があるときはむやみに外出しない。



### 避難の準備は

人的被害発生のおそれが高く、事態の推移によっては、避難勧告や避難指示発令の可能性が高まったときに、避難の準備を呼びかけるものです。  
●避難準備情報が発令されると、避難にあたり誰かの援護が必要であるなど、特に避難に時間がかかる人は、避難を開始すべきと考えられます。  
●土砂災害においては、大雨警報、もしくは土砂災害警戒情報が発令され、さらに大雨が予想され、今後1～2時間以内に土砂災害が発生する基準雨量の超過が予測される場合。

### 避難準備情報

### 避難勧告

人的被害発生の可能性が明らかに高まった際に、該当地区の居住者に立ち退きを勧められるもので、通常の避難行動ができる人が計画された避難場所等への避難を開始すべき段階と捉えられています。  
●避難を強制するものではありません。  
●土砂災害においては、土砂災害警戒情報が発令され、降雨量が土砂災害警戒基準を超過した場合。

### 避難指示

避難勧告より拘束力が強く、より切迫した状況で発令されるもので、実際に人的被害が生じた時に発令されるほか、近隣や地区内で前兆現象が発生した場合や、土地の特性により人的被害の危険性が非常に高まった場合に発令されます。  
●避難中の住民は、迅速かつ確実に避難を完了する必要があります。まだ避難していない住民はすぐに避難しなければなりません。  
●避難の余裕がない場合は、自らの生命を守る最低限の行動を求られますが、無理やり避難させるなどの強制は行われません。  
●土砂災害においては、近隣で土砂災害が発生した場合。

▶避難に関する情報は、市からあしや防災ネット・防災行政無線・広報車等でお知らせします。

### まず避難！防災の基本です

●災害発生時、いつも飲んでいる薬を持ち出さない場合があります。薬の名前・量・回数などをメモしておきましょう。  
●普段の生活の中で、避難経路を散歩で歩いてみたり、危険な箇所を確認するなど、いざという時に迷わないよう日頃から自己訓練をしましょう。

### みなさんで助け合ひましょう。

- 避難経路は安全ルートを
- 目の不自由な人には軽く手を添えて
- 妊婦さんや乳幼児は優先的に
- 高齢者の人と一緒に避難
- 子供は浮き袋を着けて安全確保
- 高齢者や病人、幼児は背負って安全に
- 路上で浸水してきたら、なるべく高い所へ行きましょう。
- 液体が不自由な人には援護を
- 目の不自由な人には筆談等で
- 外国人にはジェスチャー等で
- 水面下には危険な場所が、杖代わりの棒で確認して
- 単独行動はしない。2人以上で、はぐれないようにロープで結んで
- ヘルメットや防災すんをかぶり、靴はひも式の運動靴で

### 防災行政無線システムの案内

本市では、災害が発生した際に速やかに皆さんに正確な情報を伝達する「防災行政無線システム」の運用を行っています。現在、スピーカーは市内32カ所に設置しています。今後、この設備がより有効に活用していけますよう、市民の皆さんのご協力をお願いします。

市役所（親局）から発信した電波が、各屋外拡声子局に届きます。  
**放送設備の内容**  
□ 屋外拡声子局 32カ所  
※ 高さ15mの支柱にスピーカーを設置。  
※ 市内同時に緊急情報を放送します。

### 災害情報をお伝えするアドレス

- 芦屋市の情報
  - 防災安全課ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/bousai/>
  - 市ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/>
  - 携帯版市ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/mobile/>

### 防災行政無線の概要



- 天気・地震・台風などの総合情報
  - 兵庫県CGハザードマップ <http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>
  - 国土交通省「川の防災情報」[パソコン版・携帯版] <http://www.river.go.jp/>

### あしや防災ネット

安心・安全 = メールの登録  
本市では、携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、あらかじめ登録された皆さんに、気象警報や防犯等に関する緊急情報を発信するサービスを提供しています。  
芦屋市に大雨警報が発表されました。○○地区に避難勧告が発令されました。  
●メール登録方法: 「URL直接入力」または「QRコード入力」インターネット接続できる携帯電話やパソコンに次のURLを入力してアクセスして、「お知らせメール」登録/解除 から登録してください。  
登録料は無料ですが、ウェブ接続料・メール受信料は別途かかります。  
【あしや防災ネット】 <http://bosai.net/ashiya/>  
問い合わせ: 防災安全課 ☎38-2093

- 天気の総合情報
  - 日本気象協会「tenki.jp」 <http://tenki.jp/> [パソコン版・携帯版]
  - 気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>